

子供の学びと育ちをつなぐスタートカリキュラム

1 特集について

生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるために、幼稚園・保育所・認定こども園といった施設類型を問わず、全ての子供が格差なく質の高い学びへと接続できるよう、就学前教育から小学校教育への教育の充実を図ることが必要です。多くの小学校では、スタートカリキュラムを編成していますが、スタートカリキュラムの編成に向けた就学前施設との合同研修会や協議会等の実施といった連携の取組が十分ではなく、就学前施設からの助言等を反映させたスタートカリキュラムになっていないという課題があります。

そこで、本特集では、子供の学びと育ちをつなぐためにスタートカリキュラムの充実に向けた連携について紹介します。

2 紙面の活用について

架け橋期の教育やスタートカリキュラムについて**知る**ことができます。

スタートカリキュラムで**大切**に**すること**について**確認**することができます。

The main article page features a central title and several callout boxes with QR codes. The callouts include:

- 架け橋期の教育**: A box explaining the importance of the transition period between preschool and elementary school.
- スタートカリキュラム**: A box detailing the structure and goals of the start curriculum.
- 連携の重視**: A box emphasizing the need for collaboration between preschool and elementary school facilities.
- 就学前施設との接続**: A box discussing the importance of connecting with preschool facilities.
- スタートカリキュラムについて確認**: A box providing key points to check when developing the start curriculum.

就学前施設との**接続**について**具体的な交流をイメージ**することができます。

スタートカリキュラムについて**具体例を基に理解を深める**ことができます。

もっと詳しく知りたい

<二次元コード（読み取り or クリック）から、本特集及び過去の所報の**解説動画**が視聴可能>





本特集及び過去の所報解説動画

子供の学びと育ちをつなぐスタートカリキュラム



過去の所報「たまじむ」

各小学校において、スタートカリキュラムを編成していますが、就学前施設との合同研修会や協議会の実施等の連携が十分ではなく、就学前施設の助言等をスタートカリキュラムに反映できていないなどの課題はないでしょうか。本特集では、子供の学びと育ちをつなぐために連携を重視したスタートカリキュラムの充実について紹介します。

架け橋期の教育



就学前施設
遊びを通して育む
資質・能力

5歳児

1年生

小学校
各教科等の学習を通して
育成を目指す資質・能力



今回は、5歳児から小学校1年生までの2年間に焦点を当てた時期（架け橋期）におけるスタートカリキュラムについて具体的に取り上げます。

スタートカリキュラム

小学校へ入学した子供が、就学前施設での遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラム

子供に関わる全ての関係者が立場を越えて連携・協働することが求められています。連携・協働し、スタートカリキュラムを実施することで、子供の小学校生活のスタートを円滑に、豊かにすることができます。

スタートカリキュラムの充実に向けた連携の重視

就学前施設

1月

4月 スタートカリキュラムの実践

小学校1年生

スタートカリキュラムの反省・検証・改善

9月 スタートカリキュラム作成の準備

「学びと育ちをつなぐシート」を活用し、就学前施設での5歳児の発達や学びについて共有



保育者・小学校教員の交流（引継ぎ会議等）

接続

学びと育ちをつなぐシート 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿



令和4年度 就学前教育カンファレンス 資料（東京都教育委員会）

スタートカリキュラムで大切にすること

- 1 幼児期の発達や学びを踏まえた指導の工夫
- 2 児童の発達の特性を踏まえた弾力的な時間割や学習活動の工夫
- 3 生活科を中心に合科的・関連的な指導の充実
- 4 安心して自ら学びを広げていけるような学習環境の工夫

幼児期の生活に近い活動と児童期の学び方を織り交ぜながら、子供が主体的に自己発揮できる場面を意図的につくるのが大切です。

4月第1・2週 例【今週のねらい】先生や友達と仲良くなる。

安心をつくる時間

生活科を中心とした学習

教科等を中心とした学習

入学式	第1週		第2週	
	1日目	2日目	6日目	7日目
朝	朝の準備 ・ランドセルを置く ・好きな遊びをする	朝の準備 ・所持品を始末する ・好きな遊びをする	朝の準備 ・所持品を始末する 自ら選べる環境の工夫	朝の準備 ・所持品を始末する ・好きな遊びをする
1	朝の会から連続した1時間目の設定 朝の会 あいさつ 健康観察 今日の流れ なかよく遊ぼう はじめて ・歌遊び ・パネルシアター	朝の会 あいさつ 健康観察 今日の流れ なかよく遊ぼう ・歌って踊ろう ・手遊び ・名前覚えゲーム ・読み聞かせ	朝の会 あいさつ 健康観察 今日の流れ なかよく遊ぼう ・手遊び ・言葉集めゲーム	朝の会 あいさつ 健康観察 今日の流れ なかよく遊ぼう ・手遊び ・踊ろうリズム遊び
2	入学式 初めての名前 好きなものなあに ・読み聞かせ ・先生に質問タイム	体験と表現を繰り返す学びの深化	うたってみよう 園や家庭で親しんできた歌や身体表現を楽しめるような歌を歌う	学 体育着に着替える 行 発育測定
3	10分から15分程度の短い時間の時間割構成 ・教室や座席、担任を知る ・名前を呼ばれたら返事をする	はてなをみんなでかいつつ 物を整理しながら分からないことを出し合い、解決する 小学校生活に必要な習慣や技能を身に付ける指導	遊びを通して育んだ経験 わくわくがっこうたんけん 遊具で遊ぼう・鬼遊び 校庭にある遊具の使い方や遊び方を知る 鬼遊びで遊ぶ	児童の思いや願いを実現できる学習活動の工夫 すきなもののいっぱいクレヨンや色鉛筆等を使って自由に絵を描くことを楽しむ 算 算 なかよし物の個数の多少を、半具体物に置き換えて、1対1対応によって比較することが分かる 就学前教育で経験してきた内容を各教科等の学習に生かす

接続モデル例

- ・ 保育者・小学校教員の交流（相互参観、合同連絡会、引継ぎ会議等）
- ・ 子供の交流（行事参加、交流、小学校体験等）



入学当初は、安心をつくる時間を多めに設定し、徐々に生活科を中心に各教科等の学びにつなげることが重要です。



参考文献

- 学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学校教育の接続について～幼保小の協働による架け橋期の教育の充実～（令和5年2月 中央教育審議会）
- 幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）（令和4年3月 文部科学省）
- 幼稚園教育要領解説 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月 文部科学省 内閣府 厚生労働省）
- スタートカリキュラムスタートブック（平成27年1月 文部科学省）
- 小学校学習指導要領解説（平成29年告示）総則編及び生活編（平成29年7月 文部科学省）
- 就学前教育と小学校教育の円滑な接続を図るために（令和4年2月 東京都教育委員会）
- 就学前教育カリキュラム改訂版（平成28年3月 東京都教育委員会）
- 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（令和3年1月 文部科学省）